

翔

2014 Jun

No.228

百万石蝶談会



白山市鶴来大国町でムラサキツバメの発生を確認

三 上 秀 彦

2013年8月～9月にかけての調査で、石川県白山市鶴来大国町でムラサキツバメ *Narathura bazalus* の発生を確認したので、記録にとどめておく。筆者が当地で発生を確認したのは、2005年以来である。

報告に先立ち、確認記録を提供いただいた高畠金子氏(生態写真愛好家)にお礼申し上げる。



ムラサキツバメ♀

石川県白山市鶴来大国町 2013年8月27日 三上秀彦撮影

■記 録

- ・ 8月25日 2幼虫(3齢)確認
- ・ 8月27日 成虫1♀(新鮮)確認、幼虫7頭(2～3齢)確認
* 25日確認の幼虫とは別個体。
- ・ 8月30日 成虫1頭確認／高畠金子
- ・ 8月31日 成虫2頭確認／高畠金子
- ・ 8月31日 幼虫約30頭(若齢～終齢)確認
- ・ 9月19日 幼虫5頭(老熟)採集
* 9月30日～10月1日に計2♂3♀が羽化。標本は石川県ふれあい昆虫館で保管。

8月25日の幼虫確認を受けて、鶴来大国町以外でも幼虫等の探索を行ったが、いずれの場所でも発見できなかった。調査地は以下の7ヶ所である。

- ・ 8月27日 白山市安養寺町(NEC敷地内の植栽：2005年の確認地)
- ・ 8月27日 野々市市上林(街路樹)
- ・ 8月27日 金沢市袋畠町(西部緑地公園内の植栽)
- ・ 9月1日 羽咋市千里浜町(街路樹)
- ・ 9月1日 かほく市下山田(うのけ総合公園内の植栽)
- ・ 9月1日 河北郡内灘町宮坂(内灘霊園内の植栽)
- ・ 9月1日 河北郡内灘町大学(公園内の植栽)

《みかみ ひでひこ 〒920-0272 内灘町向陽台1丁目331番地》

石川県内のムラサキツバメ調査2013

松井 正 人

2013年8月、石川県白山市鶴来
 大国町でムラサキツバメの発生が
 観察され（三上、2014）、どこま
 で県内に広がっているのか、更に
 はどこまで広がるのか、各地のマ
 テバシイで幼虫と食痕の調査を
 行ったが、いずれの調査でも観察
 できず、2013年に観察できたのは、
 白山市鶴来大国町だけだった。

新たな観察地は見つからなかつ
 たが、鶴来大国町での観察を今回
 もいち早く連絡していただいた三
 上秀彦氏に、お礼申し上げる。



■観察できなかった石川県内の調査地と調査日

1. 金沢市袋島西部緑地公園（緑地） 2013年10月9日
 2005年には、発生が観察されている。
2. 金沢市八田競馬場（緑地） 2013年8月31日
 2006年には、発生が観察されている。
3. 内灘町内灘霊園（街路樹） 2013年9月7日、2013年10月14日
 2006年には、発生が観察されている。
4. 宝達志水町今浜総合運動公園（緑地） 2013年10月12日
 これまでに発生が観察されたことは一度も無い。
5. 羽咋市千里浜（街路樹） 2013年9月7日、2013年9月22日、2013年10月12日
 2005年、2009年、2012年に、発生が観察されている。
6. 羽咋市吉崎羽咋運動公園（緑地） 2013年10月12日
 2009年には、発生が観察されている。

《 参考文献 》

三上秀彦（2014）白山市鶴来大国町でムラサキツバメの発生を確認．翔(228):1.

《まついまさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

金沢市寺津町でミヤマカラスシジミを確認

吉 村 匡 平

石川県金沢市におけるミヤマカラスシジミの記録は、内川や浅野川上流の小原、菊水、畠尾、菱池、湯涌河内、横谷などで、犀川上流では確認されていない。今回、筆者は犀川上流に位置する金沢市寺津町で、ミヤマカラスシジミの生息を確認したので報告する。

犀川ダムに繋がる県道を、上寺津発電所付近からダムに向かって散策しながら歩いていた時、本種の食樹であるクロウメモドキを見つけた。もしやと思い調べると、多数の卵と3頭の弱齢幼虫を見付けることができた。また、近くにあったウラジロガシからは、ミドリシジミの仲間と思われる弱齢幼虫を見付けることができ、飼育するとアイノミドリシジミだった。

2014年 4月13日 石川県金沢市寺津町 ミヤマカラスシジミ 幼虫3頭採集 吉村匡平

2014年 4月13日 石川県金沢市寺津町 アイノミドリシジミ 幼虫2頭採集 吉村匡平



左側斜面の上にクロウメモドキを見付け、もしやと思いフェンスを登って調べると、多数の卵と3頭の弱齢幼虫が見つかった。



ミヤマカラスシジミの卵と弱齢幼虫を見つけたクロウメドキの芽吹きの様子



クロウメドキの枝に張り付いていたミヤマカラスシジミの弱齢幼虫

《よしむら きょうへい 〒920-0965 金沢市笠舞2丁目3-3》

表紙のむし - オオミスジ -

1990年頃までは、庭先や畑のウメの木にまとわりつくように飛ぶ姿が、金沢市の里山で普通に観察されていた。2008年になって、かつての観察地に出かけてみたが出会えず、その後は注意しているものの、未だに見つかっていない。今のところ1994年の観察が、金沢市の最も新しい記録になっているが、いつかまた会えることを楽しみに、今年も観察に出かけている。

松井正人

白山市中宮温泉でクジャクチョウが発生か

細沼 宏・松井正人

石川県白山市中宮温泉で、7月16～21日にかけて、クジャクチョウの新鮮な成虫ばかり5頭を採集しているので報告する。

県内で、新鮮な成虫が観察されているのは、白山周辺の高山帯に飛来したものばかりであり、幼虫や蛹など成虫以外は観察されていないことから、クジャクチョウの発生が有るのか無いのか分かっていない。

今回、7月に低地の同一地点で新鮮な成虫が複数採集されたことから、周辺で発生した可能性が高い。

2013年7月16日	石川県白山市中宮温泉	3頭採集	細沼 宏
2013年7月19日	石川県白山市中宮温泉	1頭採集	細沼 宏
2013年7月21日	石川県白山市中宮温泉	1頭採集 1頭目撃	細沼 宏



谷間の標高700mに有る白山中宮温泉。クジャクチョウを目撃採集したのは、いずれも川を挟んだ対岸の道路上。

《ほそぬま ひろし 〒920-0276 内灘町緑台2-122》

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

涌いたヒメシジミ

松 井 正 人

■ヒメシジミの観察地

これまで石川県でヒメシジミが観察されていたのは、アサマシジミが生息するような溪谷の河原で、アサマシジミの観察に行くとき偶然見つけていた。アサマシジミより遙かに稀な存在で、アサマシジミは翌年も同じ場所で観察できるのに、ヒメシジミは同じ場所で観察されたことは無かった。

■涌いたヒメシジミ

筆者は2013年に、白山市一里野スキー場ゲレンデで、涌き出たかのような多数のヒメシジミを観察（松井、2013 a）し、これまで観察されていた白山周辺の観察地から大きく離れた金沢市内においても、初めて観察することができた（松井、2013 b）。

いずれの観察地も、谷底の河原ではなく山腹や尾根にある明るい草地で、日当たりが良くヨモギやヒメジョオン、シロツメクサが咲いていた。

表1. 2013年の観察地

ヒメシジミ観察地	標 高	環 境	広さ	目立った植物
白山市一里野スキー場	750～1000m	明るいゲレンデ	広い	ヨモギ、ヒメジョオン、シロツメクサ、アカツメクサ、ハギ数種
金沢市横谷順尾山	800m	車道横の明るい草地	狭い	ヨモギ、ヒメジョオン、シロツメクサ、オオバコ
金沢市熊走犀鶴林道	700m	車道横の明るい草地	狭い	ヨモギ、ヒメジョオン、シロツメクサ、フキ



図1. 白山市一里野スキー場の観察地の一角



図2. 金沢市横谷順尾山の観察地



図3. 金沢市熊走犀鶴林道の観察地

■予兆はあった

過去の観察記録を見直すと、2005年と2008年に明るい草地での記録が見つかった。

2005年は富山県の記録だが、医王山の医王権現周辺でヒメジョオンやシロツメクサが咲く明るい草地で細沼 宏氏が1♀を採集している（細沼、2005）。辺りにはヨモギがあり、氏が予想した翌年の発生は的中し、同じ場所で数♂数♀が観察された。

2008年は、白山市の中宮温泉スキー場頂上付近の明るい草地で、筆者が1♂を採集している（松井、2009）。

表2. 明るい草地の観察地

ヒメシジミ観察地	標 高	環 境	広さ	目立った植物
富山県南砺市医王権現	710m	車道横の明るい草地	狭い	ヨモギ、ヒメジョオン、シロツメクサ、 ウツボグサ
白山市中宮温泉スキー場	1000m	車道横の明るい草地	狭い	不明

■今後に向けて

ヒメシジミの新しい観察地は、標高700m以上でヨモギやヒメジョオン、シロツメクサなどが生えた明るい草地である。ヨモギやヒメジョオン、シロツメクサは、ヒメシジミの食草であり、明るい草地は全国的にもヒメシジミの生息地なことから、このような環境で探すと発見できる可能性が高い。

成虫の活動が盛んな6月中旬から7月中旬頃、金沢の市街地から最も近い医王山なら、柵首（しがらくび）や医王権現より上がおもしろい。他にも車で簡単に行ける場所には、白山市では白抜山や高倉山、瀬女高原スキー場、白峰西山、小松市では丸山や花立、加賀市では真砂から福井県へ抜ける峠などがあり、それらしいチョウを見かけた時には確認していただきたい。

もうひとつお願いしたい事がある。ヒメシジミの食性は幅広く何でも食べているのに、石川県ではハギの仲間1種（勝海、1988）しか知られていず、ヨモギでさえも観察されていない。5月下旬から6月上旬にかけて一里野スキー場へ行けば幼虫が見つかり、新しい食草がいくつも分かると思われる。

《 参考文献 》

- 細沼 宏（2005）富山県南砺市医王山でヒメシジミとカラスシジミを採集．翔(176):1.
 勝海雅夫（1988）蛇谷でヒメシジミの幼虫を採集．翔(74):1.
 松井正人（2009）石川県白山市でヒメシジミを採集．翔(197):3.
 松井正人（2013 a）石川県白山市でヒメシジミ多数を観察．翔(223):1.
 松井正人（2013 b）石川県金沢市でヒメシジミを観察．翔(223):2-3.

金沢市でカラスシジミの幼虫を採集

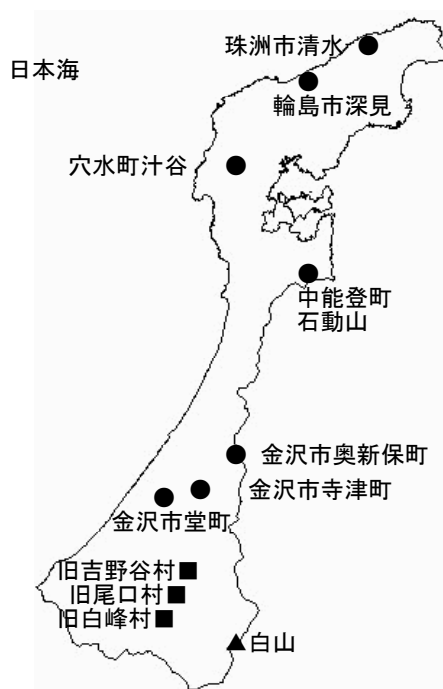
松 井 正 人

石川県金沢市の寺津町と奥新保町で、オヒョウからカラスシジミの幼虫を採集したので報告する。

寺津町は、犀川の溪谷斜面に何本ものオヒョウがあり、日当たりの良い車道横から道路上に張り出した枝の先端に幼虫が付いていた。奥新保町は、医王山県立自然公園奥新保登山口近くの歩道横にオヒョウの太木3本が寄り添って立っており、木に登ったところ日陰の葉に幼虫が付いていた。どちらも採集後しばらくして脱皮し、終齢幼虫になった。

2014年4月29日	金沢市寺津町上寺津発電所	1幼	松井正人
2014年5月 6日	金沢市奥新保町医王山登山口	1幼	松井正人

カラスシジミの食樹は、ハルニレ、オヒョウなどが知られているが、石川県内では白山市（旧白峰村、旧尾口村、旧吉野谷村）や金沢市でオヒョウから卵や幼虫が観察されている（松井、1996）（松井、2003）。オヒョウは、白山周辺には多く見られるが、金沢市以北では稀となり、筆者は金沢市に3箇所、中能登町に1箇所、穴水町に1箇所、輪島市に1箇所、珠洲市に1箇所しか生育地を知らない。能登地方に於いても、これまでに何度か調査を行っており、何れの間所も溪流沿いの森林内と良い環境にも関わらず、中能登町と珠洲市ではシータテハが見つかったものの（松井、2005）、カラスシジミはどこからも見つかっていない。今後、能登地方で新しいオヒョウの生育地が見つかる可能性は十分にあり、既存の生育地とともに、カラスシジミが見つかる可能性は高い。



白山市旧村の位置(■)と金沢市以北のオヒョウの生育地(●)

《 参考文献 》

- 松井正人（1996）石川県のシジミチョウ．翔（123）：4-8.
 松井正人（2003）金沢市に於けるカラスシジミの記録．翔（162）：6.
 松井正人（2005）能登半島でシータテハの生息を確認．翔（174）：1.



犀川溪谷の上寺津発電所。写真には写っていないが発電所の上には県道が有り、県道周辺から川辺にかけて発電所周辺の斜面にオヒョウが多い。



カラスシジミ3齢幼虫
2014年4月29日 金沢市寺津町



カラスシジミ3齢幼虫
2014年5月 6日 金沢市奥新保町

会員の動き・しゃばの動き

■春のおとずれ

3月23日小松市。今日こそはと春を待ち焦がれていた3人の前に、ようやく春が訪れ、気が付けば目の前を舞っていた。HHとMMは、これで落ち着いたが、シーズンの始まりにHMの闘志はみなぎってきた。

■オンセンゲンゴロウ

岩間温泉と中宮温泉の30～35度に、体長2mm内外のゲンゴロウがいるらしい。古い話で詳細不明だが、北浦亀松(1953)白山の昆虫相には絵が添えられている。

■春爛漫

気温が急上昇した3月29日、休日とも重なり各地でギフが観察された。

■佐渡から金沢に飛来

佐渡で放鳥され羽咋で「あかり」と名付けられたトキが、珠洲に飛来していたが、3月29日には「あつし」が飛来した。佐渡産ハンミョウ数種の遺伝的関係を調査中とかで、能登や加賀での資料収集を依頼された。

■上寺津発電所

犀川上流の上寺津発電所までは車で入れ、ここから先はゲートが閉まり犀川ダムまでは徒歩となる。歩くとやたら虫が目につき、今年もミーカラシジミや越冬明けのクジャクが見つかった。しばらくするとオヒョウからシータテハやカラスシジミの幼虫が見られるようになる。

■錆びた三角カン

中学生の時に初めて使った三角カン。ウスバシロチョウ、ギフチョウ、オオムラサキなどなど、あこがれの蝶は、みんなこれ

に収まった。大きめの新しいものを買ったが、ちょっと小さめの錆びた三角カンには、遙かかなたの夢が一杯詰まっている。

■北上するツマグロヒョウモン

南国の蝶だったツマグロヒョウモンも、2002年に小松市、2009年に金沢市と富山市で越冬が観察されている。新潟県でも観察記録が増えているようで、新潟市でも発生の可能性が有るらしい。

■待ち遠しくて待ちきれない

HHはシルビアを探しに能登へ、MMは一里野へヒメを捜しに行ったが、まだ早いでしょう。

■オヒョウに挑戦

5月10日、まだ見ぬシータテハとカラスシジミを狙って、KYとNAは上寺津発電所に向かった。例会でちらつかされた幼虫が頭から離れず、早速行動を起こしたところ、めでたく両種とも手中に収めた。

■羽化シーズン

羽化箱は、中で飛ばないように暗くしてあり、中が見えないので静かにフタを開けても一斉に飛び出す事がある。蝶は明るい窓に向かい、サッシや物の隙間に入るとやっかいな事になるが、明るいカーテンがあれば、カーテンにくっつき、取込は簡単。

■ヒメハルゼミは見つかるか

シイ・カシ林に生息し北限は新潟県能生。能生の生息地は小さく、この程度のシイ・カシ林なら能登にも有る。これまでも、何度か調べられているが、セミの発生は変動が大きく、数年調べないと分からない。

■ 例会の記録 ■

4月10日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、医王山のゼフィルスについて、医王山初のヒサマツを採集した細沼氏、2頭しか採れていないムモンアカを採った浅地氏ほか、例会参加者がそれぞれ語った。毎年賑わう馬の背ポイントや、かつてゼフィルスの宝庫とされたキゴ山や柵首のポイントがカシノナガキクイムシでボロボロにされた話なども飛び出した。

その他の話題は、3月のギフチョウ、昨日採った越冬クジャク、中宮で採れた1化クジャク、ヒメシジミの幼虫捜し、福井県3頭目のヒメシジミは見つかるか、高層風を利用するアサギの北上移動、桑畑のセアカオサ、キイロネクイは幻か、メレ子のと きめき昆虫学、などなど。

参加は、井村、吉村、山岸、松井、細沼、浅地、大宮、福富、田辺の9人。

■ 例会の記録 ■

5月8日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、一里野の発生地発見で過熱しそうなヒメシジミについて、一番熱くなっている細沼氏が語る。九州大分県から始まり、愛知県、そして福井県のヒメシジミと力が入る。福井の記録は2頭のみで、3頭目は石川で記録が増えてきた今がチャンス。観察地の白山三の峰登山道へは、石川や福井ルートより、岐阜ルートが早く入れるとか。

その他の話題は、コガタノゲンゴロウが金沢で見つかった、3月のギフチョウは採り易い、上寺津で採れた蝶の幼虫4種、シータテハは地際の葉に多くカラスシジミは張り出した枝先に多い、肉団子にされたクロコムラサキ、道昆紳士録、などなど。

参加は、浅野、細沼、大宮、松井、池田、浅地、吉村の7人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

三上秀彦：白山市鶴来大国町でムラサキツバメの発生を確認	1
松井正人：石川県内のムラサキツバメ調査2013	2
吉村匡平：金沢市寺津町でミヤマカラスシジミを確認	3
細沼 宏・松井正人：白山市中宮温泉でクジャクチョウが発生か	5
松井正人：涌いたヒメシジミ	6
松井正人：金沢市でカラスシジミの幼虫を採集	9
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	11

翔 228号

Tobu 2014年6月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印 刷 小西紙店印刷所

